カメラ

カメラをご使用になる前に 250
写真撮影をする 252
拡大鏡の利用 255
手書きメモの作成 256
ビデオ撮影をする 256
撮影時の設定をする 258
バーコードリーダーでの情報読み取り 264
音声コードの読み取り 266

カメラをご使用になる前に

保存した写真やビデオでできること

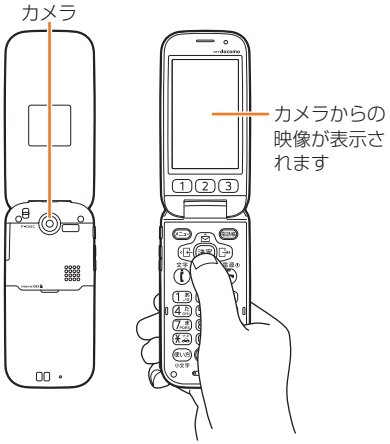
カメラを使って撮影した写真やビデオは、表示／再生するだけでなく、次の操作ができます。

- ｉモードメールに添付して送信→p.295、p.302
- 待受画面に設定→p.296
- microSDカードに保存して利用→p.315、p.321
- 赤外線通信を利用して送信→p.331

カメラのご使用について

FOMA端末を開いて撮影する

カメラで人や風景などを撮影できます。カメラからの映像はディスプレイに表示されます。



お知らせ

- 写真／ビデオ撮影待機中は約5分間、拡大鏡を使っているときは約30分間何も操作しないと、終了する旨のメッセージが表示され、カメラは自動的に終了します。
- 写真／ビデオ撮影待機中にFOMA端末を閉じるとカメラは終了します。なお、撮影した写真／ビデオの確認画面を表示中にFOMA端末を閉じてもカメラは終了しません。
- ビデオ撮影中（休止中を含む）にFOMA端末を閉じると撮影が中断されます。FOMA端末を開くと、撮影を中断した時点までのビデオの確認画面が表示されます。

撮影時の留意事項

- お買い上げ時は、カメラ部分に保護用のラベルが貼られています。はがしてからカメラを利用してください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末を暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間放置したりすると、撮影する画像や映像が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画質が暗くなったり写真やビデオが乱れたりする場合があります。
- レンズの特性により、写真やビデオがゆがんで見える場合があります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらついたり縞模様が現れたりするフリッカー現象が起きる場合があり、撮影のタイミングによっては写真やビデオの色合いが異なることがあります。「明るさの調節」の設定を変更することで、ちらつきや縞模様を軽減できる場合があります。→p.261
- カメラで撮影した写真やビデオは、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- 撮影の際、レンズ部分を指などで覆わないでください。
- 手ぶれにご注意ください。FOMA端末が動かないようにしっかり持って撮影するか、FOMA端末を安定した場所に置き、セルフタイマー機能を利用して撮影することをおすすめします。
- シャッター音が鳴ってから実際に撮影されるまでに、多少の時間差があります。シャッター音が鳴ってから少しの間、FOMA端末を動かさないでください。また、速く動いている被写体を撮影すると、シャッター音が鳴ったときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
- 動きの激しいものをビデオ撮影すると、映像が乱れる場合があります。
- ｉアプリからカメラを利用した場合、変更できない設定や表示されないアイコン、起動しない機能があります。

- microSDカードをご利用になるには、別途microSDカードが必要です。お持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
- 撮影した写真やビデオの確認画面で電池残量がなくなると、写真やビデオは自動的に保存されます。
- カメラは電力の消費が非常に早いため、カメラを長時間起動したり、撮影後に保存せず長時間放置したりしないでください。
- 設定によっては、カメラを起動してから撮影画面に映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影および録音したものなど、およびサイトやインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されておりますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。撮影または録音したものなどをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。
お客様が本FOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

保存形式について

カメラで撮影した写真（静止画ファイル）やビデオ（動画ファイル）の保存形式は次のとおりです。

静止画ファイル

項　目	説　明
ファイル形式	JPEG（Exif形式、PRINT Image Matching Ⅲ※対応）
画像サイズ	• 待受（240×400） • L（1080×1920） • 2L（1556×2592） • 3L（1944×2592）
拡張子	jpg
ファイル名	撮影日時により自動設定 〈例〉2011年4月15日13時25分1秒に撮影した場合 →「20110415132501」
最大保存件数	本体2000件 microSDカード9999件 • ファイルサイズや他のデータの有無によっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。

※ 手書きメモで撮影した場合は非対応です。

動画ファイル

項　目	説　明
ファイル形式	MP4（MobileMP4）
符号化方式	映像：MPEG-4、H.264※ 音声：AAC LC
画像サイズ	• QCIF（176×144） • QVGA（320×240）※
拡張子	3gp
ファイル名	撮影日時により自動設定 〈例〉2011年4月15日13時25分1秒に撮影した場合 →「20110415132501」
ファイルサイズ（容量）	メール添付・小：最大500KB メール添付・大：最大2MB microSD・無制限※
最大保存件数	本体100件 microSDカード4095件 • ファイルサイズや他のデータの有無によっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。

※ 画質が「最高画質」のとき

写真撮影をする

カメラが自動的に設定変更や画像補正などをして、簡単にきれいな写真（静止画）を撮影できます（おまかせカメラ）。

- 自動シーン認識機能により、カメラを向けるだけで設定が切り替わります。
  自動シーン認識の利用・設定→p.254
- 自動シーン認識が「設定しない」のときは、撮影する直前に自動的にピントを合わせます。約30cm以上離れて撮影してください。
- 撮影時に、自動縦横判定が動作します。FOMA端末の傾きを検知して、保存する写真の天地を自動的に調整します。
- 撮影中、レンズに被っている指を検出すると、指がかりお知らせアラームが表示されます。アラームの表示中も撮影はできます。
  指がかりお知らせアラームの設定→p.262
- 自動的に手ぶれ補正が機能します。被写体に応じて、手ぶれなどの振動による画像の乱れを補正します。
- 自動的にコントラスト補正が機能します。逆光での撮影時などに自然な画像になるよう、部分的に補正します。

1 待受画面で(カメラ)を押す

写真撮影画面が表示され、ランプが約1秒間隔で点滅します。
自動シーン認識での撮影では、ピントを合わせていることを表すフォーカス枠が表示されます。

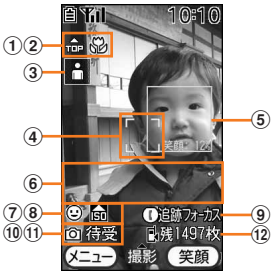
- (メニュー)▶「6写真を見る」を押すと「撮影した写真」アルバムに保存されている写真を見ることができます。microSDカードを取り付けているときは、(メニュー)▶「6写真を見る」▶「1本体の写真」または「2microSDの写真」を押すと、「撮影した写真」アルバムまたはmicroSDに保存されている写真を見ることができます。
  →p.294、p.324

■ 起動時サイズ設定を「起動時に確認」に設定しているとき

写真の大きさの選択画面が表示されます。「1待受（240×400）」～「43L（1944×2592）」のいずれかを押します。(決定)を押すか、約5秒たつと写真撮影画面が表示されます。

- iアプリ待受画面を設定しているときは、「1待受（240×400）」以外は選択できません。

■ 撮影画面の見かた



① 自動縦横判定
4方向に回転して、上方向を示します。

② 接写→p.258

③ 自動シーン認識で認識中のシーン
STD：標準
：風景
：夜景
：人物
：マクロ（接写）

④ フォーカス枠

⑤ 顔検出枠と笑顔度

⑥ 指がかりお知らせアラーム
「指がレンズに被っています」とメッセージが表示されます。

⑦ 笑顔度の設定→p.255
：微笑（30%）
：笑い（50%）
：大笑（70%）

⑧ 高感度→p.254

⑨ 追跡フォーカス→p.254
追跡フォーカスが操作できることを示します。追跡フォーカスを起動させると、起動状態を表示します。

⑩ 使用中のカメラ機能
：通常撮影
：拡大鏡
：手書きメモ

⑪ 撮影サイズ→p.259

⑫ 保存先の残り撮影可能枚数の目安
：保存先が本体
：保存先がmicroSDカード

2 **被写体にカメラを向ける**

自動シーン認識のフォーカス枠がオレンジ色になってピントを合わせます。

- 自動シーン認識が「設定する」のときは、画面にQRコードが検出されると、自動的にデータを読み取ります。→p.264

3 **決定を押す**

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、写真が撮影されます。充電ランプが点灯して、撮影した写真の確認画面が表示されます。

- 自動保存の設定が「自動で保存する」のときは、撮影後すぐに保存され、写真を保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと写真撮影画面に戻ります。

4 **撮影した写真を確認する**

5 **決定を押す**

撮影した写真の操作選択画面が表示されます。

6 **「1保存する」を押す**

写真を保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと写真撮影画面に戻ります。

- microSDカードを取り付けているときは、「1microSDに保存」または「2本体に保存」を押します。
- 「1保存する」または「2本体に保存」を押したときは、写真・画像一覧の「撮影した写真」アルバムに保存されます。→p.294
- 「1microSDに保存」を押したときは、写真・画像一覧の「microSDの写真」アルバムの「1写真」に保存されます。→p.294

■ iモードメールで送る場合：

① **「2メールで送る」を押す**

写真を保存した旨のメッセージが表示されます。

- microSDカードを取り付けているときは、「3メールで送る」を押します。

② **決定または約5秒後▶「1小さくして送る」または「2このまま送る」を押す**

メール作成画面が表示されます。

- iモードメールの作成・送信方法→p.152、p.156

■ 待受画面に設定する場合：**「3待受画面に貼る」を押す**

写真を保存して画面を設定した旨のメッセージが表示されます。

- microSDカードを取り付けているときは、「4待受画面に貼る」を押します。

■ 保存しないで撮影し直す場合：**「4撮りなおす」を押す**

写真撮影画面に戻ります。

- microSDカードを取り付けているときは、「5撮りなおす」を押します。

■ 撮影した写真の確認画面に戻る場合：**電話帳を押す**

操作4に戻ります。

お知らせ

- 待受画面でを1秒以上▶「1写真撮影」を押しても起動できます。
- 自動保存の設定が「自動で保存する」でmicroSDカードが挿入されている場合、撮影した写真はmicroSDカードに保存されます。
- 画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な写真を削除するかどうかの確認画面が表示されます。撮影（保存）する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内の画像を削除してください。
- 撮影した写真のファイルサイズや空き容量によっては、写真撮影画面に表示される残り枚数が減らない場合があります。
- 撮影した直後に電話がかかってくると、タイミングによっては撮影した写真が破棄される場合があります。

自動シーン認識の利用・設定

被写体に自動的にピントを合わせます。また、撮影状況を判断して、最適な撮影シーンに切り替えます。

- 自動シーン認識利用中は、人物の顔に顔検出枠と笑顔度が表示されます。最も強く検出されている顔には緑色の枠が、それ以外には白い枠が表示されます。
- 顔検出枠があるときは緑色の顔検出枠に、顔検出枠がないときは画面中央にピントを合わせます。
- 撮影シーンは、標準・風景・夜景・人物・マクロ（接写）のいずれかから選択されます。
- 自動シーン認識利用中、撮影画面にQRコードを認識すると、自動的に読み取って、データを表示します。ただし、読み取ったQRコードが分割されたQRコードだった場合は、バーコードリーダーに切り替わります。最初のQRコードから改めて順番に読み取ってください。
  バーコードリーダー→p.264
- 被写体から約8.5cm以上離して利用してください。
- セルフタイマー設定中は、利用できません。

自動シーン認識の設定

自動シーン認識を利用するかどうかを設定します。

1 写真撮影画面で(メニュー)▶「9写真機能選択」▶「3自動シーン設定」を押す

2 「1設定する」または「2設定しない」を押す

自動シーン認識を設定または解除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつと写真撮影画面に戻ります。

お知らせ

- 顔検出枠は最大10個表示されます。
- 次の場合や、その他撮影条件により、顔検出されないことがあります。
  - 顔が横や斜めを向いている、傾いている
  - 眼鏡や帽子、マスク、影などで顔の一部が隠れている
  - 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗い
  - 顔が画面の端にある

追跡フォーカスの利用・設定

写真撮影のときに、フォーカス枠が被写体の動きを追いかけます。

- 自動シーン認識の設定が「設定しない」のときやセルフタイマー設定中は、操作できません。

1 写真撮影画面で(●)を押す

画面中央の被写体を追跡します。

■ 解除する場合：(●)または(戻る/イヤホル)を押す

追跡フォーカスの設定

追跡フォーカスを利用できるようにするかどうかを設定します。

1 写真撮影画面で(メニュー)▶「9写真機能選択」▶「5追跡フォーカス設定」を押す

2 「1設定する」または「2設定しない」を押す

追跡フォーカスを設定または解除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつと写真撮影画面に戻ります。

高感度撮影モードの利用

薄暗いところでも明るく撮影できるようにします。

- 自動シーン認識の利用中のみ操作できます。

1 写真撮影画面で被写体にカメラを向ける

- カメラが暗い環境を認識すると、ガイド行の右側に「高感度」と表示されます。

2 ガイド行の右側に「高感度」と表示されているときに(電話帳)を押す

高感度撮影に切り替える旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつと高感度撮影モードが起動します。

■ 解除する場合：(戻る/イヤホル)を押す

通常の写真撮影に切り替える旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつと写真撮影画面に戻ります。

笑顔撮影の利用・設定

写真撮影のとき、緑色の顔検出枠の笑顔度が設定値に達すると自動的にシャッターが切られます。
- 自動シーン認識の利用中のみ操作できます。

1 写真撮影画面で被写体にカメラを向ける
- カメラが人物の顔を認識すると、ガイド行の右側に「笑顔」と表示されます。

2 ガイド行の右側に「笑顔」と表示されているときに(電話帳)を押す

笑顔撮影に切り替える旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつと笑顔撮影が起動します。

■ 解除する場合：(戻る)を押す

通常の写真撮影に切り替える旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつと写真撮影画面に戻ります。

笑顔撮影の設定

笑顔撮影を利用したときにシャッターが切られる笑顔度を設定します。

1 写真撮影画面で(メニュー)▶「9写真機能選択」▶「4笑顔撮影の設定」を押す

2 「1微笑（30%）」～「4設定しない」のいずれかを押す

笑顔撮影を設定または解除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつと写真撮影画面に戻ります。
- 「4設定しない」に設定すると、笑顔撮影を起動できなくなります。

お知らせ
- ガイド行の右側が「高感度」「拡大鏡」から「笑顔」に切り替わらない場合は、周囲の環境を明るくするか、被写体とカメラの距離を離してください。

拡大鏡に切り替える

写真撮影のとき、撮影画面から簡単に拡大鏡に切り替えられます。
- 自動シーン認識の利用中のみ操作できます。

1 写真撮影画面で被写体にカメラを向ける
- カメラが被写体を至近距離に認識すると、ガイド行の右側に「拡大鏡」と表示されます。

2 ガイド行の右側に「拡大鏡」と表示されているときに(電話帳)を押す

拡大鏡に切り替える旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつと拡大鏡が起動します。→p.255

■ 解除する場合：(戻る)を押す

通常の写真撮影に切り替える旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつと写真撮影画面に戻ります。

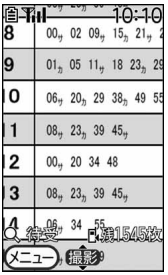
拡大鏡の利用

FOMA端末のカメラで対象を拡大表示します。そのまま撮影することもできます。
- 対象から約8～10cmの距離でご利用ください。

1 待受画面で(カメラ)を1秒以上▶「3拡大鏡」を押す

カメラの映像が拡大されて画面に表示されます。

ランプが約1秒間隔で点滅します。



- 通常の写真撮影と同様に、写真を撮影することができます。「写真撮影をする」操作3以降をご覧ください。→p.253

お知らせ

- 撮影サイズは待受（240×400）になります。
- ズームは約2.0倍～約12.0倍で変更できます。→p.258
- 拡大鏡利用中は、変更できない設定があります。

手書きメモの作成

文字を強調した写真撮影をします。手書きの文字や絵を画像として保存したり、メールに添付して送ったりできます。

1 待受画面で(カメラ)を1秒以上▶「4手書きメモ」を押す

- 以降の操作は「写真撮影をする」操作3以降をご覧ください。→p.253
- 手書きメモを撮影すると、画像の歪みが自動的に補正されます。撮影後の確認画面で(電話帳)を押すと、補正の有無を切り替えられます。

お知らせ

- 撮影サイズは待受（240×400）になります。
- 接写撮影時は約8～40cm、接写撮影を解除したときは約30cm以上離れた被写体にピントを合わせて撮影します。→p.258
- 手書きメモで撮影中は、変更できない設定があります。
- 被写体によっては補正を行わないほうが自然な場合があります。

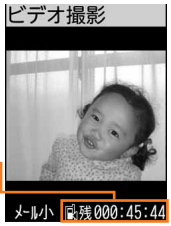
ビデオ撮影をする

音声付きのビデオ（動画）を撮影します。

- ビデオサイズ（容量）が「microSD・無制限」で撮影されたビデオは、iモードメールに添付できません。
- FOMA端末の機種に関わらず再生できるビデオを撮影するには、ビデオサイズ（容量）を「メール添付・小」に設定してください。

1 待受画面で(カメラ)を1秒以上▶「2ビデオ撮影」を押す

ビデオ撮影画面が表示されます。
ランプが約1秒間隔で点滅します。



現時点で撮影（保存）できる残りの最大撮影時間の目安が表示されます。

- (電話帳)：「撮影したビデオ」アルバムに保存されているビデオを見ることができます。microSDカードを取り付けているときは、(電話帳)▶「1本体のビデオ」または「2microSDのビデオ」を押すと、「撮影したビデオ」アルバムまたはmicroSDカードに保存されているビデオを見ることができます。→p.300、p.324

2 被写体にカメラを向けて決定を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り撮影が開始され、充電ランプが約3秒間隔で点滅します。

撮影終了までの時間の目安が表示されます。

撮影終了までの目安が表示されます。

- 撮影終了までの時間の目安が00:00:00になると、撮影が自動的に終了して撮影したビデオの確認画面が表示されます。操作4に進みます。

■ **一時停止する場合：撮影中に(メニュー)を押す**

- もう一度(メニュー)を押すと撮影を再開します。
- (メニュー)を押すたびに確認音が鳴ります。
- 一時停止中はランプが点灯します。

3 **決定を押す**

終了確認音が鳴り、撮影が終了して撮影したビデオの確認画面が表示されます。

- ビデオサイズ（容量）が「microSD・無制限」のときや自動保存の設定が「自動で保存する」のときは、すぐに保存され、ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとビデオ撮影画面に戻ります。

4 **決定を押す**

撮影したビデオの操作選択画面が表示されます。

■ **撮影したビデオを再生する場合：電話帳を押す**

5 **「1保存する」を押す**

ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとビデオ撮影画面に戻ります。

- microSDカードを取り付けているときは、「1microSDに保存」または「2本体に保存」を押します。
- 「1保存する」または「2本体に保存」を押したときは、ビデオ・音声一覧の「撮影したビデオ」アルバムに保存されます。→p.300
- 「1microSDに保存」を押したときは、ビデオ・音声一覧の「microSDのビデオ」アルバムの「4ビデオ」に保存されます。→p.300

■ **ｉモードメールで送る場合：「2メールで送る」を押す**

ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメール作成画面が表示されます。

- microSDカードを取り付けているときは、「3メールで送る」を押します。
- ｉモードメールの作成・送信方法→p.152、p.156

■ **保存しないで撮影し直す場合：「3撮りなおす」を押す**

ビデオ撮影画面に戻ります。

- microSDカードを取り付けているときは、「4撮りなおす」を押します。

■ **撮影したビデオの確認画面に戻る場合：電話帳を押す**

操作4に戻ります。

お知らせ

- ビデオサイズ（容量）が「microSD・無制限」の場合でも、一度に撮影できる時間は約180分までです。
- 自動保存の設定が「自動で保存する」でmicroSDカードが挿入されている場合、撮影したビデオはmicroSDカードに保存されます。
- 撮影中にボタン操作を行うと、ボタン確認音が録音される場合があります。
- ビデオの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なビデオを削除するかどうかの確認画面が表示されます。撮影する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のビデオを削除してください。
- 撮影中に撮影終了までの時間表示の更新が遅くなる場合があります。
- 撮影中に着信があったり、目覚ましや予定の設定時刻になったりした場合、その時点で撮影が中断され、着信やアラームの画面が表示されます。通話やアラームが終了すると、撮影したビデオの確認画面が表示されます。ビデオサイズ（容量）が「microSD・無制限」のときや自動保存の設定が「自動で保存する」のときはビデオを保存した旨のメッセージが表示され、決定を押すか、約5秒たつとビデオ撮影画面に戻ります。撮影したビデオにアラーム音が記録されることがあります。
- 撮影中に電池が切れそうになると、電池残量がない旨のメッセージが表示され、撮影が中断されます。決定を押すか、約5秒たつと撮影したビデオの確認画面が表示されます。撮影画面に戻って撮影しようとしても電池がないため撮影できない旨のメッセージが表示され、撮影できません。
- 撮影中に急に電池が切れそうになると、電池残量警告音が鳴り、撮影が中断されることがあります。その際、撮影したビデオの最後に電池残量警告音が録音されることがあります。

撮影時の設定をする

撮影するときの設定を変更します。

• 設定できる項目は次のとおりです。

項　目	参照先
ズームのしかた	p.258
接写撮影／通常撮影の切り替え	p.258
写真撮影／ビデオ撮影の切り替え	p.258
フレームの選択	p.259
セルフタイマーの利用	p.259
撮影サイズの設定※	p.259
ビデオサイズ（容量）の設定※	p.260
ビデオの画質設定※	p.260
明るさの調節	p.261
シャッター音の設定※	p.261
ディスプレイの照明設定※	p.261
自動保存の設定※	p.262
指がかりお知らせアラームの設定※	p.262
ビデオ撮影の残り時間の確認	p.263
カメラ起動時の撮影サイズ設定※	p.263
カメラメニューの利用	p.263

※ 撮影終了後も設定内容が保持されます。

ズームのしかた

表示倍率を変更して、被写体を拡大して撮影できます。

• 撮影待機中およびビデオ撮影中（休止中を含む）に操作できます。

• 写真撮影時に変更できる最大ズーム倍率は次のとおりです。

撮影サイズ	最大ズーム倍率
待受（240×400）	約8.0倍（32段階）
L（1080×1920）	約2.0倍（6段階）
2L（1556×2592）	
3L（1944×2592）	

• 拡大鏡使用時に変更できるズーム倍率は約2.0倍～約12.0倍（32段階）です。

• ビデオ撮影時に変更できる最大ズーム倍率は次のとおりです。

ビデオサイズ（容量）	最大ズーム倍率
メール添付・小	約16.0倍（8段階）
メール添付・大	
microSD・無制限	約8.0倍（5段階）

1 **写真撮影画面／ビデオ撮影画面で音量キーを押す**

ズーム倍率が変更されます。

現在の倍率が表示されます。
・設定されてしばらくたつと表示は消えます。

接写撮影／通常撮影の切り替え

接写撮影に切り替えると、写真撮影では約8～40cm、ビデオ撮影では約8～10cm離れた被写体にピントを合わせて撮影できます。

• 自動シーン認識の設定が「設定する」のときは操作できません。

• 拡大鏡利用中は切り替えられません。

1 **写真撮影画面またはビデオ撮影画面で#を押す**

接写撮影／通常撮影に切り替える旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと撮影画面が表示されます。

お知らせ

• 手書きメモ撮影待機中とビデオ撮影中／休止中は、#を押すだけで接写撮影と通常撮影が切り替わります。

写真撮影／ビデオ撮影の切り替え

撮影待機中に、写真撮影とビデオ撮影を切り替えます。

1 **写真撮影画面またはビデオ撮影画面でメニュー▶「1ビデオを撮影」または「1写真を撮影」を押す**

撮影画面が切り替わります。

フレームの選択

撮影する写真に、保存されているフレームを重ねて撮影します。
- 写真の撮影待機中のみ操作できます。
- 撮影サイズが「L（1080×1920）」以上のときは操作できません。

1 写真撮影画面で(メニュー)▶「2フレームを選ぶ」を押す

選択できるフレームの一覧画面が表示されます。
- (電話帳)：撮影待機中の画面とフレームを重ねて表示します。(カメラ)(撮影)を押すと、フレームが切り替わります。

2 フレームを選択▶決定を押す

フレームが設定されます。
- 重ねたフレームを外す場合は、(メニュー)▶「3フレームを外す」を押します。

お知らせ
- フレームが表示されるまで、時間がかかることがあります。

セルフタイマーの利用

セルフタイマーを使用すると約10秒後に自動で写真を撮影します。
- セルフタイマーを利用する場合、自動シーン認識中や追跡フォーカス、笑顔撮影は利用できません。

1 写真撮影画面で(メニュー)▶「4セルフタイマーを使う」を押す

セルフタイマー待機中になります。
- セルフタイマーを解除するときは(メニュー)▶「4セルフタイマーを解除」を押します。

2 被写体にカメラを向けて決定を押す

画面中央にピントを合わせて、カウントダウンが始まります。写真撮影画面下部に、残り秒数が表示されます。また、カウントダウン音が鳴り、ランプが点滅します。撮影時間に近づくと、カウントダウン音の間隔が短くなり、ランプの点滅が速くなります。
- 決定：セルフタイマーを中止します。

3 残り秒数が0になると、自動的に撮影される

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、写真が撮影されます。充電ランプが点灯して、撮影した写真の確認画面が表示されます。
- 以降の操作は通常の写真撮影と同様です。「写真撮影をする」操作4以降をご覧ください。→p.253

撮影サイズの設定

撮影する写真の大きさを設定します。大きくするほど、保存容量を多く使います。
- 写真の撮影待機中のみ操作できます。

1 写真撮影画面で(メニュー)▶「5写真の大きさ」を押す

撮影サイズの選択画面が表示されます。

2 「1待受（240×400）」～「4 3L（1944×2592）」のいずれかを押す

撮影サイズを設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと写真撮影画面に戻ります。

お知らせ
- カメラ起動時の撮影サイズ設定（→p.263）が「microSDに連動」でmicroSDカードを取り付けているときは「1待受（240×400）」に設定できません。
- iアプリ待受画面を設定しているときは、「1待受（240×400）」以外は選択できません。
- iモードメールに添付する際、サイズを縮小できます。「写真撮影をする」操作6をご覧ください。→p.253
- 「1待受（240×400）」は、F-08Cの待受画面と同じ大きさです。撮影サイズのかっこ内の数字が、実際の大きさを表しています。数字が大きくなるほど、パソコンなどで大きく細かく表示できます。

ビデオサイズ（容量）の設定

撮影するビデオの画像サイズとファイルサイズを設定します。

- ビデオの撮影待機中のみ操作できます。
- ｉアプリ待受画面を設定しているときは、「3microSD・無制限」を選択できません。

1 ビデオ撮影画面で(メニュー)▶「2撮影サイズを選ぶ」を押す

ビデオサイズ（容量）の選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **メール添付・小**：ファイルサイズを500Kバイトに制限します。2Mバイト対応機種以外のｉモード端末に送信するときに設定します。
- 撮影サイズはQCIF（176×144）になります。

2 **メール添付・大**：ファイルサイズを2Mバイトに制限します。
- 撮影サイズはQCIF（176×144）になります。

3 **microSD・無制限**：ファイルサイズを制限しません。
- 撮影サイズはQVGA（320×240）になります。また、画質は自動的に「最高画質」に変更されます。
- 撮影後はmicroSDカードに自動的に保存されます。

2 「1メール添付・小」～「3microSD・無制限」のいずれかを押す

ビデオサイズを設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとビデオ撮影画面に戻ります。

- microSDカードを取り付けていない場合は、「3microSD・無制限」を押すとmicroSDカード挿入後の設定をうながす旨のメッセージが表示されます。

ビデオの画質設定

ビデオ撮影後に保存するデータの画質を設定します。高画質にするほど、撮影や保存できる時間は短くなります。

- ビデオの撮影待機中のみ操作できます。
- ビデオサイズ（容量）の設定が「microSD・無制限」のときは操作できません。
- ｉアプリ待受画面を設定しているときは、「4最高画質」を選択できません。

1 ビデオ撮影画面で(メニュー)▶「3撮影画質を選ぶ」を押す

画質の選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **長時間**：長時間撮影するときに設定します。
- 画質は標準より悪くなります。

2 **標準の画質**：標準の画質で撮影するときに設定します。

3 **高画質**：標準よりもよい画質で撮影するときに設定します。
- 撮影時間は標準よりも短くなります。

4 **最高画質**：最もよい画質で撮影するときに設定します。
- ビデオサイズ（容量）は自動的に「microSD・無制限」に変更されます。

2 「1長時間」～「4最高画質」のいずれかを押す

画質を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとビデオ撮影画面に戻ります。

- microSDカードを取り付けていない場合は、「4最高画質」を押すとmicroSDカード挿入後の設定をうながす旨のメッセージが表示されます。

明るさの調節

撮影時の明るさを調節します。
- 5段階（−2、−1、±0、＋1、＋2）で調節できます。
- 撮影待機中のみ操作できます。

1 写真撮影画面またはビデオ撮影画面でメニュー

■ 写真撮影画面で操作する場合：「0明るさの設定」▶「1明るさの調節」を押す

■ ビデオ撮影画面で操作する場合：「6詳細を設定」▶「3明るさの調節」を押す

画面下部に、現在の明るさが表示されます。

2 ✉ 📷 または＋ − を押し、明るさを調節▶決定を押す

明るさを調節した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと写真撮影画面／ビデオ撮影画面に戻ります。

お知らせ
- 被写体によっては、明るさを調節しても表示があまり変化しない場合があります。

シャッター音の設定

撮影時のシャッター音を設定します。
- 撮影時のシャッター音を鳴らさないようにすることはできません。
- 撮影待機中のみ操作できます。

1 写真撮影画面またはビデオ撮影画面でメニュー

■ 写真撮影画面で操作する場合：「9写真機能選択」▶「1シャッター音の設定」を押す

■ ビデオ撮影画面で操作する場合：「6詳細を設定」▶「1シャッター音の設定」を押す

シャッター音の選択画面が表示されます。
- 電話帳：シャッター音を確認できます。

2 「1標準」～「5スピード」のいずれかを押す

シャッター音を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと写真撮影画面／ビデオ撮影画面に戻ります。

ディスプレイの照明設定

撮影時のディスプレイの照明を設定します。
- 撮影待機中のみ操作できます。

1 写真撮影画面またはビデオ撮影画面でメニュー

■ 写真撮影画面で操作する場合：「0明るさの設定」▶「2照明の設定」を押す

■ ビデオ撮影画面で操作する場合：「6詳細を設定」▶「4照明の設定」を押す

照明の設定画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **常に明るく点灯**：撮影中は常時明るく点灯するように設定します。

2 **端末設定に従う**：照明設定（→p.114）で設定した明るさで1分間点灯します。ただし、ビデオ撮影中（休止中を含む）は常に点灯します。

2 「1常に明るく点灯」または「2端末設定に従う」を押す

照明を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと写真撮影画面／ビデオ撮影画面に戻ります。
- エコモード設定中に「常に明るく点灯」に設定すると、エコモードを解除するかどうかの確認画面が表示されます。「1解除する」を押すと、解除されます。

自動保存の設定

撮影した後に、写真やビデオの確認と保存操作を自分ですることなく、自動的に保存するかどうかを設定します。

- 撮影待機中のみ操作できます。

1 写真撮影画面またはビデオ撮影画面でメニュー

■ 写真撮影画面で操作する場合：「9写真機能選択」▶「2自動保存の設定」を押す

■ ビデオ撮影画面で操作する場合：「6詳細を設定」▶「2自動保存の設定」を押す

自動保存の設定画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **自動で保存する**：撮影した写真やビデオの確認画面を表示しないで、自動的に保存するときに設定します。
- microSDカードを取り付けている場合はmicroSDカードに保存されます。microSDカードを取り付けていないまたは利用できない場合はFOMA端末に保存されます。

2 **手動で保存する**：撮影するたびに写真やビデオを確認し、保存するかどうかを選択するときに設定します。

2 「1自動で保存する」または「2手動で保存する」を押す

自動または手動で保存するに設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと写真撮影画面／ビデオ撮影画面に戻ります。

お知らせ

- 手書きメモ利用中は設定を変更できません。通常の写真撮影から、設定を変更してください。
- ビデオ撮影時に、ビデオサイズ（容量）を「microSD・無制限」に設定しているときは設定できません。必ずmicroSDカードに自動保存されます。

指がかりお知らせアラームの設定

写真撮影時に、レンズに指がかかっていることを検出して、メッセージを表示するかどうかを設定します。

- 写真の撮影待機中のみ操作できます。

1 写真撮影画面でメニュー▶「9写真機能選択」▶「6指がかりの設定」を押す

指がかり検出を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1設定する」または「2設定しない」を押す

指がかり検出を設定または解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと写真撮影画面に戻ります。

お知らせ

- 肌色に近い被写体が画面端に写りこんだ場合、指がかりお知らせアラームが表示されることがあります。
- 次の場合やその他撮影条件により、指がかりお知らせアラームが表示されないことがあります。
  - 指が陰になり、極端に黒く写り込んでいる
  - 青白い光が射し込む環境で、指が極端に白く写りこんでいる
  - 指が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗い

ビデオ撮影の残り時間の確認

本体やmicroSDカードへ撮影したビデオを保存できる残り時間を確認します。

- ビデオの撮影待機中のみ操作できます。

1 ビデオ撮影画面で(メニュー)▶「7残り時間を確認」を押す

ビデオの残り撮影時間が確認できます。

- (電話帳)：microSDカードと本体の残り時間を切り替えます。
- ビデオサイズ（容量）の設定が「microSD・無制限」のときは、「microSD・無制限」の残り時間のみ確認できます。

2 決定を押す

ビデオ撮影画面に戻ります。

カメラ起動時の撮影サイズ設定

カメラを起動したときの撮影サイズ決定のしかたを設定します。

- 写真の撮影待機中のみ設定できます。ただし、接写撮影時は設定できません。

1 写真撮影画面で(メニュー)▶「*起動時の大きさ」を押す

カメラ起動時の撮影サイズ設定画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **microSDに連動**：microSDカードが取り付けられているときは3Lサイズの大きな撮影サイズで起動します。取り付けられていないときは、前回利用した撮影サイズで起動します。
2 **起動時に確認**：カメラを起動するたびに、どの撮影サイズで起動するかを選択します。
3 **大きさに従う**：前回利用した撮影サイズで起動します。

2 「1microSDに連動」～「3大きさに従う」のいずれかを押す

カメラ起動時の写真の大きさを設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと写真撮影画面に戻ります。

カメラメニューの利用

撮影画面でカメラの各種機能に切り替えられます。

1 写真撮影画面／ビデオ撮影画面で(カメラ)を1秒以上押す

カメラの各種機能の選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **通常撮影／接写撮影**：通常撮影と接写撮影を切り替えます。→p.258
2 **拡大鏡**：拡大鏡に切り替えます。→p.255
3 **手書きメモ**：手書きメモの撮影に切り替えます。→p.256
4 **バーコード読取り**：バーコードリーダーに切り替えます。→p.264
5 **セルフタイマー**：セルフタイマーを利用します。→p.259
  - ビデオ撮影画面では選択できません。
6 **終了する**：写真撮影またはビデオ撮影を終了します。

2 「1通常撮影」または「1接写撮影」～「6終了する」のいずれかを押す

選択した機能に切り替わります。

バーコードリーダーでの情報読み取り

カメラを使ってJANコード、QRコードといったバーコードに含まれている文字や数字を読み取ります。読み取った文字や数字は電話帳やブックマークに登録できます。読み取った文字や数字を使って、電話をかけたり（Phone To）、SMSを送ったり（SMS To）、メールを送ったり（Mail To）、インターネットに接続したり（Web To）することもできます。

- 読み取れるコードはJANコード、QRコードです。
- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射の具合などにより読み取れない場合があります。

JANコードとは

幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。8桁（JAN8）または13桁（JAN13）のバーコードを読み取れます。
上のJANコードでは、「4942857315721」という文字情報を読み取れます。

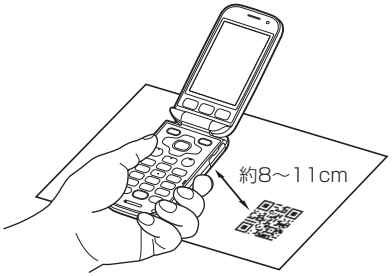
QRコードとは

縦横方向の模様で英数字、漢字、ひらがな、カタカナ、絵文字、メロディ、画像などのデータを表現している2次元コードです。
上のQRコードでは、「株式会社NTTドコモ」という文字情報を読み取れます。

コードの読み取り

1 待受画面で(カメラ)を1秒以上▶「5バーコード読取り」を押す

接写が「ON」の状態で、バーコードリーダーが起動します。
カメラをコードから約8～11cm離して読み取ってください。



- (#)：接写撮影OFF（表示なし）と接写ON（✋）の切り替えができます。
- サイズの大きいコードを読み取るときは接写撮影OFFに切り替えてください。

2 コードを読み取る

カメラをコードに合わせると自動的に読み取ります。コードが読み取られると確認音が鳴り、読み取ったデータが表示されます。

- 読み取ったデータが半角で11000文字、全角で5500文字を超える場合、超過した文字は表示されませんが利用はできます。

3 データを確認する

バーコードデータ表示画面が表示されます。

■ コードを読み取り直す場合：(電話帳)を押す

バーコードデータの利用

バーコードデータ表示画面で、読み取ったデータを直接利用したり、登録や保存をしたりします。

■ 読み取ったデータの文字情報をコピーする場合：

① (メニュー)▶「1コピーする」▶コピー開始位置を選択▶決定を押す
- (メニュー)：すべての文字情報をまとめて選択できます。

② コピー終了位置を選択▶決定を押す
選択した範囲の文字情報がコピーされます。

■ 情報を電話帳に新規登録する場合：電話番号またはメールアドレスを選択▶(メニュー)▶「3登録する」▶「1電話帳新規登録」を押す
名前の入力画面が表示されます。
- 以降の操作は「電話帳に名前を登録する」操作2以降をご覧ください。→p.81
操作後にデータ表示画面に戻ります。
- 読み取ったデータが電話帳登録用だった場合、情報の上に表示される「電話帳登録」を選択▶決定を押しても新規登録できます。
各項目が入力された状態で表示されます。

■ 情報を電話帳に更新登録する場合：

① 電話番号またはメールアドレスを選択▶(メニュー)▶「3登録する」▶「2電話帳更新登録」▶電話帳を検索▶登録先の相手を選択▶決定を押す
追加した旨のメッセージが表示されます。
決定を押すか、約5秒たつとワンタッチダイヤルに登録するかどうかの確認画面が表示されます。
- 電話帳の検索方法→p.84
- 登録先の相手にすでに3件登録しているときは、上書きする電話番号やメールアドレスの選択画面が表示されます。

②「2終了する」を押す
データ表示画面に戻ります。
- ワンタッチダイヤルに登録するときは「1登録する」▶「1ワンタッチダイヤル1」～「3ワンタッチダイヤル3」のいずれかを押します。以降の操作は「ワンタッチダイヤルに電話番号を登録する」以降をご覧ください。→p.92

■ 情報をブックマークに登録する場合：URLを選択▶(メニュー)▶「3登録する」▶「3ブックマーク登録」▶登録先フォルダを選択▶決定を押す
ブックマークを追加した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとデータ表示画面に戻ります。
- 読み取ったデータがブックマーク登録用だった場合、情報の上に表示される「ブックマーク登録」を選択▶決定を押しても登録先フォルダ選択画面を表示できます。

■ iモードメールを送信する場合：メールアドレスを選択▶決定を押す
宛先が入力されたメール作成画面が表示されます。
- iモードメールの作成・送信方法→p.152、p.156
- 読み取ったデータがメール作成用だった場合、情報の上に表示される「メール作成」を選択▶決定を押しても新規作成できます。
各項目が入力された状態で表示されます。

■ ホームページやサイトを表示する場合：URLを選択▶決定▶「1接続して表示」を押す
ホームページまたはサイトが表示されます。
- 「2表示しない」を押すと読み取ったデータの表示画面に戻ります。

■ 電話をかける場合：電話番号を選択▶決定▶「1電話をかける」▶「1電話をかける」を押す
- 「2電話をかけない」を押すと読み取ったデータの表示画面に戻ります。

■ SMSを送信する場合：電話番号を選択▶決定▶「2SMSを作る」▶「1送信する」を押す
選択した電話番号が宛先に設定されているSMS作成画面が表示されます。
- SMSの作成・送信方法→p.196
- 「2送信しない」を押すと読み取ったデータの表示画面に戻ります。

■ 静止画ファイルを保存する場合：

① 静止画ファイルを選択▶決定▶「2保存する」を押す
- 「1表示する」を押すと静止画を表示します。
- 「3戻る」を押すと読み取ったデータの表示画面に戻ります。

② 決定▶登録先フォルダを選択▶決定を押す
静止画が保存されます。
- (メニュー)：題名の変更や、待受画面・ワンタッチダイヤルの着信画面への設定ができます。

■ メロディデータを保存する場合：

① メロディデータを選択▶決定▶「2保存する」を押す

- 「1再生する」を押すとメロディを再生します。
- 「3戻る」を押すと読み取ったデータの表示画面に戻ります。

② 決定を押す

メロディが保存されます。

- メニュー：題名の変更や着信音への設定ができます。

■ トルカデータを保存する場合：

① トルカデータを選択▶決定▶「2保存する」を押す

- 「1表示する」を押すとトルカを表示します。
- 「3戻る」を押すと読み取ったデータの表示画面に戻ります。

② 決定を押す

トルカが保存されます。

■ **iアプリを起動する場合：「iアプリ起動」を選択▶決定を押す**

iアプリが起動します。

お知らせ

- iアプリからバーコードリーダーを起動した場合、読み取ったデータはiアプリで保存、利用されます。

分割されたQRコードを読み取る

複数（最大16個）のQRコードに分割されているデータは、画面に表示されるメッセージに従って次々に読み取ってください。

読み取りが必要な残りのQRコード数とQRコードの総数が表示されます。

- 分割されたQRコードの読み取りを中止するには、戻る/チャネルを押します。読み取ったデータを破棄するかどうかの確認画面が表示されます。「1破棄する」を押すと、読み取ったデータを破棄してバーコードリーダーが終了します。

音声コードの読み取り

音声コードとは、JAVIS（日本視覚障がい情報普及支援協会）が開発した、漢字を含む文字データを最大約800文字記録できる2次元コードです。音声コードをカメラで撮影して文字データを読み取り、表示や保存をします。読み取ったデータは、F-08Cの音声読み上げ機能（→p.143）を使って読み上げることができます。

- 音声コードを読み取るには、音声コード読み取り補助アダプタ（別売）とFOMA ACアダプタ01／02（別売）が必要です。
- 音声コード読み取り補助アダプタ（別売）の詳しい利用方法については、音声コード読み取り補助アダプタの取扱説明書をご覧ください。
- 読み上げの声質や速さ、音量は、音声読み上げの設定（→p.142）に従います。
- 読み取りデータは、最大10件保存できます。

1 FOMA端末を音声コード読み取り補助アダプタに取り付ける

2 待受画面でメニュー▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「7音声コードを読み取る」を押す

音声コード撮影画面が表示されます。撮影可能な状態になると、確認音が鳴ります。

■ **保存した音声コードのデータを表示する場合：電話帳▶表示するデータを選択▶決定を押す**

3 音声コードを音声コード読み取り補助アダプタの用紙差し込み口に差し込む

4 音声コードを画面中央に合わせて決定を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴ってコードが撮影されます。読み取りに成功すると、確認音が鳴って読み取りデータ画面が表示されます。

- 読み取りが終わるまで、約9～10秒かかります。読み取り対象によっては、さらに時間がかかることがあります。
- 読み取りに失敗した場合は、読み取れなかった旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと音声コード撮影画面に戻ります。

5 **データを確認する**

■ **データを保存する場合：メニュー▶「1保存する」を押す**

データを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと読み取りデータ画面に戻ります。

■ **音声コードを読み取り直す場合：電話帳を押す**

お知らせ

- 音声コードの詳細および音声コード読み取り補助アダプタの購入については、JAVIS（日本視覚障がい情報普及支援協会）にお問い合わせください。
  - 電話：03-3208-5023
  - メール：info@javis.jp
  - パソコンサイト：http://www.javis.jp/
- 音声コードデータの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なデータを削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従いデータを削除します。
- レンズに指紋や油脂などが付いていると、読み取りに失敗することがあります。
- 音声コードの差し込みかたによっては、読み取りできない場合があります。

保存した音声コードのデータを表示

保存した音声コードの文字データを表示します。

1 **待受画面でメニュー▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「8音声コードを再生する」を押す**

音声コードデータの一覧画面が表示されます。

2 **表示するデータを選択▶決定を押す**

読み取りデータ画面が表示されます。

保存した音声コードのデータを削除

保存した音声コードデータを削除します。

1 **待受画面でメニュー▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「7音声コードを読み取る」を押す**

音声コード撮影画面が表示されます。

2 **電話帳を押す**

音声コードデータの一覧画面が表示されます。

3 **削除するデータを選択▶メニュー▶「3削除する」▶「1選択1件」を押す**

データを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- データを選択して決定を押すと、データを表示できます。また、電話帳を押すと、音声コード撮影画面に戻ります。

■ **全件削除する場合：メニュー▶「3削除する」▶「2保存済全件」を押す▶端末暗証番号を入力▶決定を押す**

4 **「1削除する」を押す**

データが削除されます。削除できるデータが残っているときは音声コードデータの一覧画面に、データがないときは音声コード撮影画面に戻ります。